

# 時局の映ずる保育の二三

及川 ふみ

この第二期の保育期がはじまつた時、これから毎日幼児を遊ぶのに、時局がどんなに幼児たちに反映してゐるか、又自分たちが、この際幼児たちにどんなに處すべきであるか云ふ事は、おそらく日本全国の幼稚園の先生たちのあたまに浮んだ事であつたのである。

夏やすみの中にお父さん、或はお兄さん、或は親類の叔父さん、近所の叔父さん方を北支に、上海に歡送した幼児たちは、幼稚園がはじまつたその日からの遊びは全く戦争にちなんだことばかりでつくされた。

砂場の塹壕、積木の高射砲、女の幼児たちの赤十字隊なぎ、よく實感をあらはしながら遊ぶのには驚く外はない。ラヂオに、新聞に、畫報に、映畫に、支那の各地戰線における皇軍勇將士の奮闘の實況を小さいながらも見聞してゐるのである。時局の遊びはするものゝ、毎日毎日楽しく遊ぶ幼児たちの姿を眺めるにつけても、日本國民としてのありがたさを感じみこ考へさせられるばかりである。

我が附屬幼稚園でも皇軍の上、武運長久をいのりつゝ、毎朝幼児たちが交代で、園庭に高く國旗を掲揚する事になつた。

時局をうつす保育の二三について

## 自由畫にあらはれた戦

砂場の塹壕つくりにおこらず、自由畫には、爆撃機、戦車、高射砲、皇軍占據の萬歳の様子などの材料が多く畫かれるのであるが、近頃ではこれが斷片的のものにとどまらずニュース映畫遊びもなつたのである。模造紙を細長くつなぎ合せて、皇軍故國出發の光景より上陸、砲撃、爆撃、占據、萬歳などいくつかの場面をかき、保育室の一隅に陣ぎつて觀覽席をつくり、入場券を賣つて遊んで居る。面白い事にはみせる畫がおしまひになるこゝ、一時お客はお庭に出て、次の畫が出来るまで遊んで居る。數人の映畫作製者は急ぎ材料をかく。出来るこゝ無器用に、糊ではり合せて仕上をする。大急ぎで觀客を呼び集めるこゝいふ風である。

この映畫遊びも一人一人皆が映畫をかく事が出来るやうになるまで進みたいものである。

## 時局ばなし 二つ

ラヂオ、新聞、雜誌、などで傳へられる戦場の美談佳話は數しれずあるのであるが、幼児によくわかるやうなもので、話して見てよろこんできたもの二つ

一、日本の海軍の飛行機が五臺揃つて支那のまち南京へ爆撃にゆきましたさきの事です。五臺の飛行機は敵に見つからない様に高い高い空を飛んでゆきました。その時は空には雲が澤山にあつて、下はよく見えないやうな時であつたのです。支那の方では雲が澤山にあるので日本飛行機が自分の町の高い上にきかゝつてゐるのに氣がつかない様でありました。

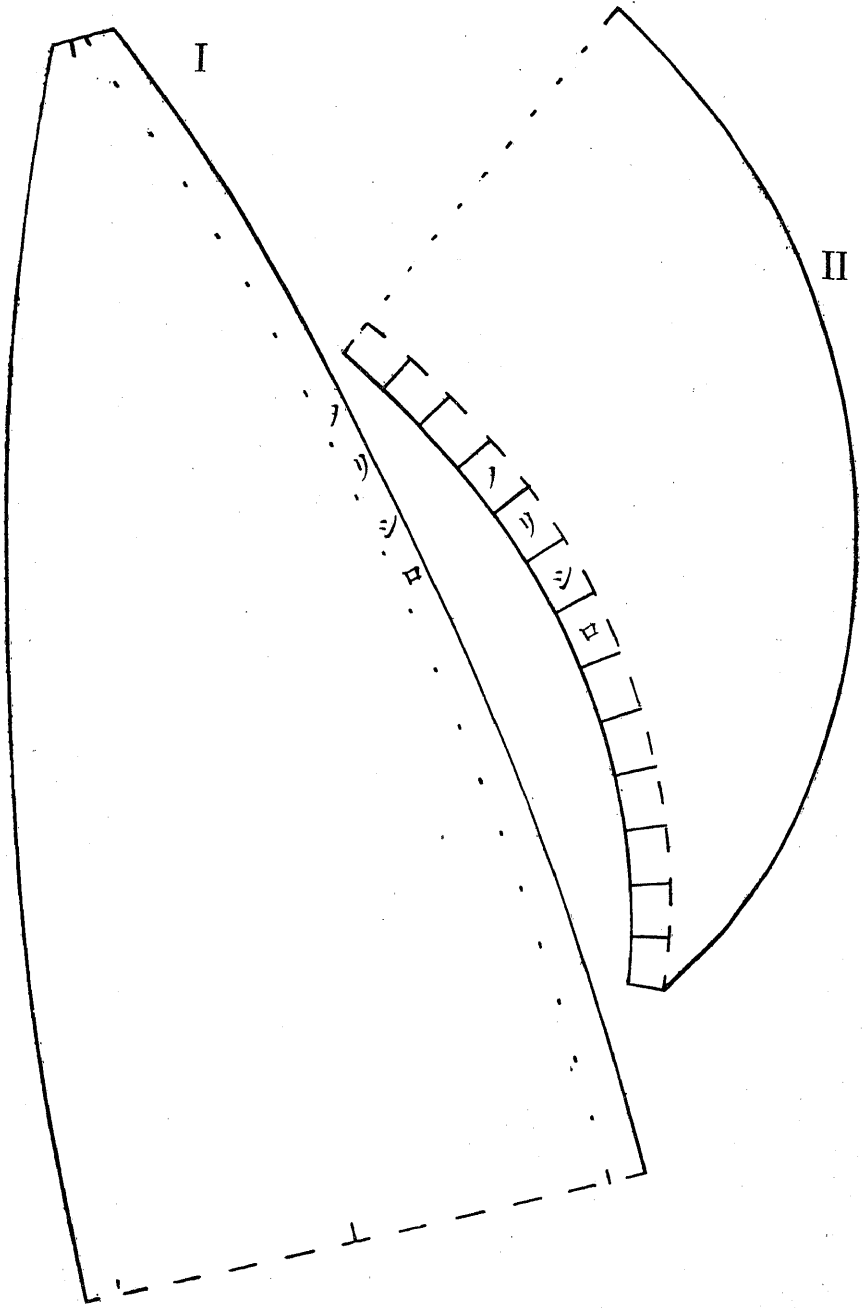
日本の飛行機は、南京の近くにきてゐるのに敵の方で氣づかないやうなので、これはよい鹽梅さばかり、急に飛行機を下におろしてさびました。そして大急ぎで南京の町を爆撃をする用意にこりかゝりました。丁度その時、急に雲の間から敵

の飛行機がブーンとあらはれてきて、機關銃をうち出しました。空中戦がはじまりました。敵の飛行機をうちながら、東京の町の飛行場や格納庫に爆撃弾を投下しました。ドンドン、バンバンと物凄い音がしたかと思ふに、下から白い煙が立つてうまく爆撃が出来たやうであります。物すごい空中戦や爆撃投下のうちに日本の五臺の飛行機は、一臺づつはなればなれになつてゐました。そのうち日本の一臺の飛行機に敵弾が一發あたりました。さあそこへあたつたかと思ふに弾丸は飛行機をつばさを少しやぶいただけでありました。又敵弾が一發あたりました。こんどはエンジンに故障が出来ました。そして今までの様にぎん／＼飛ばなくなつてきました。のつてゐた水兵さんは一生懸命に故障をなほしました。やつと少しよくなつてミベるやうになりました。又故障のため飛行機はぎん／＼下へおりてゆきます。下は敵の陣地です。下へおりては大變です。故障をなほしながら又少し上へ飛るべやうになりました。隊長は、「海の方へミベ、海の方へミベ」を號令しました。海には日本の軍艦が澤山ゐて安心だからです。水兵さんはこわれた機械を直し直し喜んでいつてやつと白い海が見え出しました。大喜びで海の上に低くおりてゆきました。海の上には船が見えました。日本の船だ大喜びで近づくかうするミ船のしるしはイギリスの國旗です。この船の方でも日本の飛行機が降りて来るのでこれを助けなければならぬミボートを下しました。ミところが飛行機にのつてゐる水兵さんたちはおそろきました。それは何んミ、助けのイギリスのボートをこいでゐる人は敵國の支那人です。その時日本の飛行機の水兵さんたちはあゝ大變なこゝになつた、支那人がイギリスの旗をたて、自分たちをだました。残念なこゝだ。敵の船にのせられてはたまものか、こゝに皆が日本刀をもつてゐる、支那人の船にのらないで切腹するのだミ覺悟をすつかりきめました。ミところがだん／＼船が近づきますミイギリス人の船長さんが助けにきてくれてゐたのです。さうしてそこゐる支那人は、イギリスの船にやミはれてゐる人夫だつたのです。水兵さん達はぎんなにうれしかつた事でせう。そこで故障のひびくなつてミベなくなつた飛行機は、おしい

けれどもそのまゝ海において水兵さんたち六人はイギリスの船に助けられてのりました。その時遠くの方に日本の軍艦が見えました。イギリスの船から信號をしました。「日本の海軍の人がこの船にのつてゐる、迎へにきてくれ」日本の軍艦からもその返事の信號がありました。まもなく日本の軍艦がきてこの水兵さんたちは無事に日本の船にかへる事が出来ました。

二、上海の戦ではだんくんに支那兵がまきました。日本軍では飛行機でピラをまきました。このピラにはこんなことが書いてあります「お前たちは日本軍に降参してくれば助けてやる。いやならむかつてこい。白旗をあげるか、戦をするかぎつちかせよ」さかいてあります。又大きなごきにも「白旗をあげて降参してくるものは助けてやる。てむかつてくるものはだんくうつ」さかいて、支那兵の見えるところに高く立てました。又敵の大將には矢に手紙をまきつけてはすこしにしました。さあ昔なら弓の上手な人も澤山にあつたでせうが、今日日本兵の中で弓の上手な人は誰かを探しました。この時私は川西上等兵です。敵前五十米のところで立つて弓をひくのです。二人の上等兵は白鉢巻で十本の矢をもつて立ちました。そばで見てゐる日本の兵隊さんたちは萬歳々々ささげびました。矢にまきつけてある手紙には「大場鎮はかんらくした。白旗をたて、降参するか、お國へかへるか降参すれば助けてやる。さうでなければ大決戦をしよう」さかいてあるのです。はじめはこの弓をひく二人の上等兵に敵兵は澤山に機關銃をあげせかけましたが、いくらうつてもびくさもしませんので、敵もおそろいて銃をうつ事をやめてたゞ見てゐました。

一本二本三本四本さかきうつて、十本も無事に敵陣へ矢をうちこみました。矢は皆敵の陣地へうまくまいた



見え、だんくんに降参してくる支那兵が多くなりました。

### 戦争ごつこの戦闘帽

戦争ごつこの帽子ミしてハトロン紙で戦闘帽をつくつてみました。幼児は喜んで毎日毎日その帽子をかぶつて遊んでゐます。自分の帽子は鐵兜ミして背にせおひ、紙の戦闘帽をかぶつて軍國の小勇士らしい幼児の姿が見られます。

型紙 I を點線のミところは輪にして切る。つまりこの型紙を縦に二倍にのばしたものを畫用紙でつくる。

茶色のハトロン紙(比較的上質のものがよい)にこの形を八枚きる。

長く點點のあるノリシロを四枚重ねてこれに糊をつけ、糊のつかないあごの四枚のうち一枚ミ先きに糊をつけた一枚ミはり合せ、形紙を二枚づゝはり合せたものを四組つくる。

はり合せた糊がすっかり乾いた後、はり合せた二枚ミも縦に二つに折る。即ち二つの形を糊ではり合せ、それを兩方ミも又縦に二つにおつたものを四つに、前のノリシロ同様に糊をつけて一組ミ一組ミはり合せ、それに三つ目をはり、次に四つ目をはつてはじめのミころにつける。

つまり細長い風船が出来るわけである。充分糊が乾いた後、擴げて圓くしてこれを二つ折にして半圓にする。二重の帽子ミなるのであるが、外側だけの口に小さい圓形にきつた紙をあてゝ口をふさぐ。内側はそのまゝでよい。

次に型紙 II も點線のミところは輪にして型をきる、これが帽子の底ミなる、これも切りこみのあるノリシロのミころは一枚でよいが、全體は二枚はり合せた方がしつかりしてよい。顎紐は幅三センチ位のもの三つおりにし、長さ四センチミして一方は糊ではりつけ、一方は紐の幅よりやゝ廣く、一センチ位間隔をおいて二ヶ所に切り目を入れてそれ

に通し、かぶるこきにはゆるくし、かぶつてしまへば紐をしめる様にする。

色の模造紙で星形をきらせて前にはりつける。

この帽子のつくり方は、今夏文部省の講習の際につくつた紙風船のつくり方と同様の方法である。

## 膳真規子先生の長逝

鎌倉に御静養中であつた膳真規子先生は、去る十月廿二日、遂に御長逝になりました。

故人が我國幼稚園界の元老として重きをなされ、多くの貢献をなされたことは更めて申すまでもありませんが、御退職後も、七十四歳の御高齢まで、幼稚園の事に就て非常なる關心を持つてお出でになつたこの耆宿を失ひました事は、返す返すも残念に存じます。

追つて御本葬は大阪に於て執行されます由に承つて居ります。

(編輯部)